

フォッグ株式会社

第9期

自 2021年4月1日

至 2022年3月31日

貸借対照表

(2022年3月31日 現在)

フォッグ株式会社

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	171,937	流 動 負 債	122,178
現金及び預金	78,176	買掛金	95,181
売掛金	72,846	未払金	11,562
前払金	201	未払費用	2,359
前渡金	8,103	未払消費税等	852
前払費用	2,891	前受金	10,329
未収還付法人税等	6,065	預り金	1,893
未収入金	3,911	固 定 負 債	169,000
貸倒引当金	△258	長期借入金	70,000
固 定 資 産	105,244	長期未払金	99,000
有形固定資産	1,426	負 債 合 計	291,178
工具器具備品	5,817		
一括償却資産	10,511	(純 資 産 の 部)	
減価償却累計額	△14,902	株 主 資 本	△13,996
無形固定資産	90,000	資 本 金	10,000
のれん	90,000	利益剰余金	△23,996
投資その他の資産	13,818	その他利益剰余金	△23,996
出資金	4,730	繰越利益剰余金	△23,996
差入保証金	6,888	(うち当期純損失)	(162)
長期貸付金	2,200	純 資 産 合 計	△13,996
資 産 合 計	277,182	負 債 ・ 純 資 産 合 計	277,182

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産
定率法

(2) 無形固定資産
定額法

2. 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

3. 収益及び費用の計上基準

当社は、収益認識会計基準等を適用しており、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

当事業年度の末日における発行済株式の数

普通株式 20,640株

(その他の注記)

該当事項はありません。

(注) 計算書類の記載金額は、千円単位未満を切り捨てて表示しております。